

左面 保護者による教育活動に関するアンケートの結果について

昨年度と比べ、肯定的評価が10%上昇した項目

- ア③ 学校は、保護者や地域の方に対して情報発信をしている。(約26%↑)
- ア④ 学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで、教育活動を公開している。(約20%↑)
- イ① お子様は、各教科の基礎的・基本的なことがらが身に付いてきている。(約17%↑)
- ウ③ お子様は、あいさつをきちんとしている。(約11%↑)
- カ① 学校は、校内整備や校内美化に取り組んでいる。(約14%↑)
- 学校独自2 お子様は、授業に興味をもって取り組んでいる。(約20%↑)
- 学校独自5 学校は、教科指導など学習全般において、丁寧で分かりやすい指導を行っている。(約11%↑)
- 学校独自7 学校の生徒に対する指導の方針に共感できる。(約10%↑)

学習については、学習指導要領全面実施や校内研究の推進により、指導方法等の見直しが行われたことが要因として考えられます。情報発信等につきましては、HPの更新等、意識的に取り組んでまいりました。今後も継続して取り組んでまいります。

10%低下した項目の該当はありませんでしたが、英語学習への意欲の向上、読書習慣、運動習慣の定着、ICTの活用推進を課題と捉え、よりよい方策を検討してまいります。

昨年度と比べ、肯定的評価が10%低下した項目 該当なし

「保護者による学校評価」でのご意見等について（主に課題として挙げられるもの）

	ご意見等	回答
1	中学生になったら小学生とは異なる(大人に近い考えをもつことなど)をもう少し具体的に教えていただけると助かります。家庭での教えが重要なことは勿論ですが、集団生活の中だからこそ、分らないといけないことも多いので、できる限りの常識を指導していただくと助かります。	ご意見の通り、学校は集団で生活をする場で、学校だからこそ身に付く社会的なスキルがあります。成人年齢の引き下げもあり、社会で生きることの意義や方法を具体的に指導してまいります。
2	学校が子供達に適切な教育をしているとは思えない時があります。問題が起きた時は担任の先生と保護者が一緒に解決して行けるのが良いと思いますが…。問題を火消ししても解決にはなりません。	ご意見の通り、その場の指導で根本的な解決につながらないことがあります。学校で起きる各種の問題は年々多様化し、これまでの方法が通用しないことがあります。そのため、時に保護者の皆様と連携し、解決に向けた取組を講じていく必要があります。同時に、各種課題に対応できるよう研修を進めてまいります。
3	英語の不得意さがはっきりと明確になったが、どのように英語を得意にしてよいかわからない様子。英語の取り組み方や基礎をしっかりと教えてほしい。	英語の苦手さの多くは、基礎である英単語が身に付いていないことがあります。そのため、英単語が確実に身に付くよう指導を工夫してまいります。具体的には英単語を聞いたり、発話したり、音声で認識できるようにしていきます。
4	他の学校に比べて先生方の目の行き届きやすい環境があるのにも関わらず、学校全体でいじめ問題が解消されないことが非常に不思議です。	いじめ問題について、適切な解決に向け、今年度は「いじめの的確な認知」「組織的対応」をテーマに対応力の向上を目指しました。一方で、解決に至らない、解決までに時間を要する件もあり、対応力の更なる向上を図る必要があります。いじめは人権問題であり、最優先に取り組む問題です。今後は保護者の皆様、地域、関係機関と一層の連携を図りながら、解決を図ってまいります。同時に、道徳教育や特別活動を中心に良好な人間関係を構築し、いじめの未然防止にも努めていきます。
5	子供達の会話の中で、機嫌が良い悪いが話題になっている先生がいる。	相手や気分によって態度を変えることはよくないことであると生徒に指導している一方、その指導者がそのような印象を与えることは決してよいことではありません。生徒及び保護者様からより信頼される教職員を目指し、ご指摘を真摯に受け止め、改善を図ってまいります。
6	学校に来る、ある会社のトラックが、毎回結構なスピードで門をくぐって行くのが危険に感じる。	業者に対し、注意喚起を行います。ありがとうございます。
7	せっかくの小中一貫校なので、もう少し楽しい行事がこの先、増えてくれたらよいと思います。	開校10周年の節目を迎えるにあたり、よりよい小中一貫校の在り方について考えていきます。学校行事につきましても、現在、校内で検討委員会を立ち上げ2023年度からの学校行事の在り方について議論を行っています。学校行事は生徒、保護者の皆様にとっても大切な教育活動です。頑張っ取組んだ成果を、一人ひとりの児童・生徒が発揮できるよう検討してまいります。
8	可能であれば、各教科毎(主に5教科)の補習時間を各教科の先生に設けていただくと良いのでは、と考えます。理解できていないところをじっくり聞く機会が授業内だけだと掴みにくいのかと思います。定期考査前の補習時間は総合的に行うと思いますが、各教科の方がより理解しやすい様に感じます。	本校における学習指導上の課題は、基礎的・基本的な学習内容の習得にあります。これは例年行われている全国学力・学習状況調査の結果からも明らかです。そのため、個人差はありますが、教育課程内だけでは習得に至らないこともあります。現在、地域の協力を得ながら放課後学習支援「学びの場」を、年間を通して運営しています。是非、そちらへの参加を促していただけますと幸いです。定期考査前の「補充学習」では、各教科の教員が指導・支援にあたっておりますが、生徒に対し、アナウンスの仕方等を工夫するなど、よりよい対応を検討してまいります。

※保護者の皆様からいただきましたご意見につきまして、肯定的な内容も多数ございました。ありがとうございます。教職員にとって、大変励みになります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。